

フランス語学科		教授	中村 公子	大学院の授業担当 無
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学習者に対するフランス語学習への動機付け	2000年～現在	各授業の初回に学習者に対してアンケートを実施し、それによって学習者のフランス語及び他の外国語学習歴や学習習慣、また興味を持っていることなどを知ることができ、学習者のニーズや関心を考慮した授業にできるよう工夫している。また、学習者間の「学び」を通して、学習者がより自発的に学ぶ姿勢をとれるように考えながら授業を行っている。	
2	学習者との「対話形式」の授業への取り組みと授業内グループワークの実践	2000年～現在	学習者が「受身」で講義を受けるのではなく、積極的に授業に参加できるよう、学習者との「対話」や「授業内グループワーク実践」を通して、学習者自らが「学習」に対して働きかけができるような授業実践を心がけている。挙手することなく、質問や意見、要求などを教師に言える雰囲気作りを心がけ実践している。	
3	学習者の学習機会としての小テストの実践	2000年～現在	ある程度まとまったところまで学習が進むと、復習テストとして、学習者に学習したことを記憶し整理する機会を与えている。小テストと一課が終わる毎に実施する復習テスト、また定期試験を実施している。	
4	学習者への自主的学習の勧め	2000年～現在	学習者には、自主学習(自律学習)として授業内でのグループワークや実践の機会を設け、個人学習と同時に他者との関わりの中で学習できるよう配慮している。授業では、学習者の学習ストラテジーとコミュニケーション・ストラテジーの獲得にも注意している。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	Marché Opus	2007年3月	上記をCD-ROMつきの教科書版に直した文法教材。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1	《モチベーションを高める activités を作ってみよう!》	2012年12月9日 (JP: 獨協大学)	授業で使用するテキストには様々なタイプの練習問題が含まれているが、練習問題を解いて答え合わせだけで終わってしまうと学習内容の定着が難しい。そこで、練習問題を出发点として「聞く、話す、読む、書く」の四技能をバランスよく効果的に発展させ、学習内容をよりしっかり定着させる activités とはどのようなものかを参加者と共に考えてみた。	
2	《2006-2012フランス語教育国内スタージュ報告》	2012年6月1日 (日本フランス語教育学会: 慶応大学)	日本フランス語教育学会、日本フランス語フランス文学会、在日フランス大使館の三者共催で2006年に始まった「フランス語教育国内スタージュ」について、2012年までの6回のスタージュの概要とプログラム等の内容を紹介し、この間のスタージュに共通していたことや年を追って変化してきたことなどを概観した。	
3	《教室での activités》	2011年11月12日 (日本フランス語教育学会: 南山大学)	授業では何らかのテキストを使用するが、教師は「教科書を教える」のではなく、どんな教材を使っても「教科書を使ってフランス語を教える」のが仕事である。テキストを使いこなして、学習者が学習内容を消化し定着させるために授業で何をしなければならないのか、また授業でどのようなことができるのかなどについて、具体的な項目を例にとりながら考えた。	
4	《この素材(=教材)、どうやって調理(=activités)しますか? -シェフ(=教師)の腕の見せどころ-》	2010年12月5日 (JP: 獨協大学)	テキストにあるexercices を材料とするならば、それをどのように調理して食べやすくするか、という喩えを用いてexercices から出発して学習事項の定着を図ると同時に実践練習するためのactivités pour apprentissage についてのアトリエ(ワークショップ)を行った。	

フランス語学科		教授	中村 公子	大学院の授業担当 無
5	《 教え始めた頃のこと、覚えている？-「フランス語科教科教育法」の授業から- 》	2008年12月7日 (JP: 獨協大学)	上智大学と獨協大学で「フランス語科教科教育法」の授業を担当する教員でアトリエ(ワークショップ)を行った。ほとんど初めて「教えること」を体験する学生たちの模擬授業を通して、授業をする上での留意点や「学ぶ側から教える側へ」移行する時に見えてくるものについて考えた。	
6	模擬授業	2000年～2012年 (日仏学院または日仏会館)	「フランス語教育セミナー」および「フランス語教育国内スタージュ」において、オーガナイザー 兼 講師を担当した。セミナーとスタージュの両方において、「模擬授業」を担当し、「準備」、「実践」、「総括」を指導した。(模擬授業準備に関わるチューターとの検討会を含む。)	
<b>4 その他教育活動上特記すべき事項</b>				
1	フランス語教授法研究会 (Journée pédagogique de Dokkyo)	年一度(12月)	1987年から開催されている研究会に2000年から毎年準備・運営に携わり、講師として参加することもある。2008年からは12月に獨協大学で開催されていることから学生アルバイト統括も行っている。	
2	フランス語教育セミナー および フランス語教育国内スタージュ	2000年～2012年 (日仏学院 または日仏会館)	オーガナイザーおよび講師として準備運営に携わった。2009年からはフランス語教育国内スタージュの運営委員会委員(2009年度プログラム責任者)として準備と運営に携わり、「模擬授業」の担当講師として準備実践を行うと同時に、授業見学コーディネーターを兼任した。	
3	TCFに関して	2006年～2012年	2006年以降に獨協大学で実施しているTCFをフランス語学習への一つの動機付けとして学生に積極的に受験を勧めている。	
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
1990年4月～現在		日本フランス語教育学会会員		
		同学会 理事(2000年4月～2006年3月)		
		同学会 理事(2009年4月～2012年3月)		
1990年4月～現在		日本フランス語フランス文学会会員		
2000年11月		神奈川県ALT中間研修講師(フランス語担当)		
2001年11月		神奈川県ALT中間研修講師(フランス語担当)		
2000年10月～2001年3月		フランス語教育セミナー オーガナイザー 兼 講師		
2001年10月～2002年3月		同上		
2003年10月～2004年3月		同上		
2006年3月		フランス語教育国内スタージュ 講師		
2007年3月		同上		
2009年4月～2012年3月		同スタージュ 運営委員会委員 兼 講師		
<b>その他</b>				